

## <「月アロマ浄」ゲルタイプを浄霊で使う方法>

### ■必ず最初にお読みください。

こんにちは。惑星アロマ「PLANETAQUA」月アロマ浄を開発した木星です。

このジェルは、人の痛みの感情を癒し、あらゆる不要なエネルギーを浄化するためのボディケア製品です。同時に浄霊のために作ったアロマジェルでもあるのです。

わたしはもともと、霊障にお困りの方たちをサポートする浄霊師の仕事をしていました。ここで言う「霊障」には、他者からの思念によるサイキックアタックも含まれます。いわゆる「生霊（いきりょう）」と言われるものの影響です。

霊たちがなぜ人に憑依し、感情のアップダウンや身体の不具合、現実面での苦勞を引き起こすのかは後ほどお伝えしますが、霊たちはたしかに存在し、多くの人たちを悩ませています。それを実感する方々の間で、わたしの仕事は口コミで伝わり、これまで数十名のクライアントさんを浄霊してきました。意外に少ないのは、霊たちを天に上げる仕事は大変に過酷で、ときに三日三晩夜通し浄霊を行い、終わった後も半月から半年間ほど、休息が必要だったためです。

当然ながら、費用は数万円では難しくなり、料金を上げざるを得ませんでした。「難病が改善した」「次に精神病院に入ったら、拘束具をつけて一生過ごすと言われていた妻の精神疾患が持ち直し、今も安定している」といったクライアントさんの声に自信をもらい、やりがいを感じながら続けてきました。

ところがあるとき、非常に巨大な霊を天に上げたにもかかわらず「何も変化がない」とおっしゃるクライアントさんに遭遇したのです。そうしたことは憑依のメカニズム上、起こりうることは知っていましたが、当時のわたしは初めての経験で、ずいぶん動揺しました。（そのメカニズムについては後で説明しますね）同時にヒヤリとし「この方からお代を頂戴したままているのは、後できっとトラブルになる」と直感し、全額費用をお返ししました。

けれど、浄霊後のわたしの肉体はボロボロで、そこから1年近く療養を余儀なくされたのです。

わたしは休みながら「浄霊の方法を変える必要がある」と考えました。

浄霊師に肉体的なダメージがなく、喜びいっぱい仕事ができ、なおかつクライアントさんにとっても経済負担の少ないもの。できる限り、望む結果を得られやすいもの。そうして、遠隔ヒーリングやアプリ開発など試行錯誤をくりかえし、足掛け8年で誕生したのが、惑星のエネルギーを転写した「PLANET AQUA」月アロマ浄でした。

どんな仕組みで浄霊が可能かは、ここでは割愛しますが、使ってみると浄霊師であるわたしに肉体的なダメージは0。なおかつ廉価でお届けできる。「試してみて、良い変化があれば継続する」といったように、クライアントさんのペースでお使いいただける。

あくまで当社比ではありますが、これまでの浄霊と比べると良いことづくして、「あきらめずに作って、本当によかったな」と感じています。

ただし、使い方にはコツがあって、霊障のメカニズムや、どうしたら霊障を防げるのかななどを、よく理解した上で使うこと。これだけで、結果がずいぶん変わってくるように思います。

さあ、この機に、月アロマ浄をおともに見えない世界の法則性を知り、自愛を重ね、霊的な影響から自由になっていきましょう。霊たちは知ってしまえば、そう怖い存在ではありません。それどころか、あなたの成長に一役かってくれている側面すらあるのです。それではいよいよ、その具体的なメカニズムと使い方を、お伝えしていきましょう。

## ●浄霊の前に●

### ■霊障のメカニズム

～霊たちは、ネガティブ（と言われる）感情に憑依し、その感情を栄養源にして生息する。～

霊たちが憑依するのは、ネガティブ（と言われる）感情と、信念（強い決め事）、この二つです。まずは前者から解説していきましょう。



たとえば、A 子さんが強い孤独感にさいなまれていると、同じく「孤独」の周波数をもった霊たちが、どこからともなくやってきて、くっつきます。B 男さんが誰かを恨んでいると、同じく「恨み」そのものとも言える霊たちが、B 男さんにひつつくのです。

霊たちが憑依すると、A 子さんや B 男さんの感情、「孤独感」や「恨み」が、さらに大きくなります。

霊たちは、人のネガティブな感情を栄養源にして生息するため、食料（ネガティブと言われる感情）を確保しようと、憑依した人間がもっと「孤独感」を味わうような、もっと「恨み」を重ねるような、苦しい体験を引き寄せていくのです。それが霊障による病気や災難です。

そしてもう一つ、霊は信念（強い決め事）にも憑依します。

「ネガティブな感情に憑くのはわかるけど、どうして強い決め事に？」と思うかもしれません。けれど、信念（強い決め事）は、強烈な恐れを味わったときに形成されるもので、ネガティブ（と言われる）感情とセットなのです。実は、大きな喜びを感じて「それを永遠にキープしたい、しなければ」と思ったときにも信念は生じるのですが、話が難しくなるので、ここでは「ネガティブな感情を強く味わったときに、信念は形成される」と、理解しておいてください。信念に憑依が起こる仕組みは、長くなるので割愛します。

<憑依の対象>

霊は、人のネガティブ（と言われる）感情と、信念（強い決め事）に憑依する。

### ■ゆえに、浄霊後も症状が改善されないときがある

～その人の中にある根っこの感情が癒えないまま浄霊をしても、また同質の霊がひつつく。～

冒頭でお伝えしたクライアントさんが「浄霊後も変化がない」とおっしゃったのは、この霊障のメカニズムによるものです。あの事件は浄霊師であるわたしのミスで、クライアントさんのカウンセリングをもっと深く丁寧に行った上で、憑依した霊を天に送る必要があったのです。彼に強い恨みの感情が膨大に残ったまま浄霊をしたことで、その後すぐ、同質の感情を持つ霊が憑依し、クライアントさんの体感レベルでは「変化がない」と感じたのでしょう。

とはいえ、クライアントさんご自身も、自分の中のネガティブ（と言われる）感情と、しっかり向き合う覚悟が必要です。自らを深く癒す準備が整って初めて、根本からの浄霊が可能となるのです。

<浄霊の要>

霊の生息源である、ネガティブ（と言われる）感情を、まずは癒す

### ■生霊（サイキックアタック）もまた、同様のメカニズム

ちなみに、生きている人間が、恨みや嫉妬などの感情を A 子さんに向けたときも、サイキックアタック（生霊）となって、A 子さんにだるさや、頭痛や腹痛、背中の痛み、心臓の痛みや不整脈、吐き気や極度の生理痛などを引き起こします。

また、心にも影響を与えます。サイキックアタッカーの感情と同質の感情が、そのまま A 子さんの心に映し出され、嫉妬やねたみ、不安や恐れ、苛立ち、いきどおりなど、ネガティブ（と言われる）感情を、大きく引き起こしていきます。また、こんなケースもあります。サイキックアタッカーが「助けてほしい」と強く願い、あなた自身は「(困ってる人を)助けてほしい」と強く願っている場合、両者の需要と供給が合い、アタックが成立するのです。

<サイキックアタッカーとアタックを受ける人の心理的需要と供給>

「助けてほしい」⇔「(困ってる人を)助けてほしい」

「つぐなうべきだ（責め）」⇔「罰してほしい（罪悪感）」

「執着している」⇔「執着されたい」



「見捨てないで」⇔「絶対に見捨てない」

「身をていしてわたしを守れ（優越感）」⇔「身代わりにになりたい（劣等感・負い目）」etc

<心理的需要と供給>を見れば、「信念（強い決め事）にも憑依される」という意味がわかるでしょう。「困っている人は助けるべきだ」「わたしは罰せられるべき人間だ」こうした信念が、さまざまな霊障を、無意識に引き寄せるのです。

<サイキックアタックと霊的な影響の原因>

霊的な影響も、サイキックアタックも、ネガティブ感情や信念が根本の原因になっている。

サイキックアタックから自由になるためにはやはり、自分の内側と真摯に向き合うことが最重要。

### ■「自分と向き合う」=「自分を責める」ではない。

さて、「自分と向き合う」と言うと、「自分の中の、どんな感情が霊的問題を引き起こしているのだろう」と、考えあぐねることだと思っている人が、案外多いようです。内側を観察することは良いのですが、「原因探し」ばかり行っていると、「自分責め」の感情も誘発します。

大切なのは、自分の中に「恨みがあるな…」と感じたら、まずはその感情が、確かに内側にあることを受け入れ、深くゆるしてあげること。今まで、目をふさぎ、耳をふさいで「恨み」の感情をなかったことにしていたなら、「ごめんね。恨めしいって感じていたのに、見ないふりをして。ここにちゃんと、大きな恨みがあるのにね」と、その感情を受け入れてあげることです。

これが「自分と向き合う」第一歩です。そうして、自分の痛みをしっかりと感じ、味わってあげましょう。

さらには、その恨みの感情を、初めて体感した時のことを思い出せたなら、これほど素晴らしいことはありません。

たとえば「お父さんが、自分たち家族を放っておいて、遊び歩いていたときに感じていた感情が、まさに今の夫への恨みと同じかも…」とか。「幼い頃、大好きだった姉が、ある日を境に口をきいてくれなくなって、そのときの寂しさが、今、感じている孤独感の初体験だったかも」とか。

まずはご自身で内側の感情を感じて、味わい、その感情を「あつて、いいよ」と受け入れる。そして、「この感情を、初めて体感したのはいつですか？」と、自分の胸に手を当てて、尋ねてみる。ここまでが、浄霊のファーストステップであり、浄霊の要となります。

<浄霊のファーストステップ>

自分の痛みの感情を、深く受け入れ、その感情の初体験を思い出す。

（初体験の記憶は、必ずしも必要ではありません）

## ●浄霊をスタートする●

### ■ジェルの使い方

さてここからは、いよいよジェルの使い方をお伝えしながら、浄霊ステップを進めていきましょう。

「PLANET AQUA」月アロマ浄ゲルタイプは、オーダーして使うことで、初めて機能する特徴があります。

浄霊をオーダーするにしても、やはりその文言がキモ。まずは霊たちを引き寄せている、あなた自身のケアから進めていきましょう。

その前に「浄霊、怖いな」とか、「そんなにわたしってネガティブなの？泣」なんて思って、肩に力が入っているあなたへ。一つお伝えしておく、霊たちを引き寄せてしまうような痛みの感情は、誰だって少なからず持っているものです。

かくいうわたしだって、経験があります。

それに、こうして浄霊が必要になったり、それほどの痛みの感情を持ったと言うことは、あなたの魂がとっても好奇心旺



盛で、いろんな経験を望んだから。つまり、それほどチャレンジャーな魂だったということです。「悪いわたし」などいないのです。

だからシリアスになりすぎず、すっきりするための心のエクササイズだと思って、気楽な気持ちで進めていきましょう。

## ■掃除と洗濯に使う

霊的な者たちのたまり場になるのが不潔な場所、日当たりや風通しの悪い場所です。そのため、霊障にお悩みなら、掃除や洗濯はこまめにしましょう。ただし、「絶対にきれいに、清潔に保たなければ!」と強く思いすぎても、その信念（強い決め事）にも、霊はつきまでするので、あまり「絶対!」と思わず、できる場所から始めていきましょう。

### <掃除>

オーダー：①「この家にいる、霊的なものたちを浄化してください」  
②「この家を霊的な影響から守ってください」

基本は拭き掃除で使います。バケツの水（もしくは湯）に、2プッシュ、ジェルを入れ、オーダーをして、床、壁などを拭きましょう。ソファやベッドなど、触れている時間の長い場所は、布やウエットシートなどに直接ジェルを塗り拭きます。これを、霊的な影響（重さやダルさ）を感じる間は毎日、落ち着いたら週に2~3回行っていきます。

### <洗濯>

オーダー：①「衣服やシャツなどについた、霊的なものたちを浄化してください」  
②「わたしの肉体を、霊的な影響から守ってください」

常に洗濯時に、ジェルを1プッシュ入れ、オーダーします。

吊るしっぱなしのカーテンなども、すべて一度、この方法で洗濯すると良いでしょう。

## ■庭にまく

自分だけでなく、家族も霊的な影響があるなら、お住まいの家や土地に、霊道（霊の通り道）がある可能性も。引越すことをお勧めしますが、難しい場合は土地浄霊を行います。ただ、土地のエネルギーは簡単にどうにかなるものではありません。

週に1回ないし、月に1回、定期的に庭にまくことをお勧めします。重複になりますが、引越せる場合は引越しましょう。

### <土地浄霊>

このオーダーは、順番が大事。霊たちを天に上げた後に、霊道を動かしてあげることで霊たちの無用な恨みをさけられるでしょう。

オーダー：③「この土地の霊たちを浄化し、天にあげてください」  
④「もし、この土地に霊道があるならば、その霊道を地球のマントルまで引き下げ、なくしてください」

水2ℓあたり、ジェル4プッシュ。これをじょうろで、庭、家の周り、マンションであれば中庭やその周辺の下水に流します。

## ■自分を癒す。基本編

さて、住まいや生活を整えたら、いよいよ自分自身の中にある感情を癒し、信念をほどいていきます。家族がいるなら、彼らもまた、月アロマ浄を入れたお風呂に入ると良いでしょう。家族の場合は、オーダーは任意です。

### 1. お風呂で使う

あなたが入浴するときに、1プッシュ入れて使います。

オーダー：⑤「わたしの人生の難易度を、最大限に小さくしてください」  
⑥「霊的な影響を引き起こしている、根っこのわたしの感情を、優しく教え、癒してください」  
⑦「霊的な影響から、わたしを自由にし、霊たちを浄化してください」

ご病気やお怪我、自宅にお風呂が無いなど、よほどの事情がない限り、お風呂にはぜひ、入れて入ってください。身体全体にやさしく作用し、エーテル体からゆっくりと、浄化が起こっていきます。



## 2. 身体に塗る

オーダー：⑤「わたしの人生の難易度を、最大限に小さくしてください」  
⑥「霊的な影響を引き起こしている、根っこのわたしの感情を、優しく教え、癒してください」  
⑦「霊的な影響から、わたしを自由にし、霊たちを浄化してください」

塗る部位の優先順位は、へそ下から尾てい骨回り。その次が背中と胸。その次が頭。

ジェル付属の仕様書には「2プッシュを、身体の5か所、へそ下・尾てい骨・胸・背中・頭頂に塗る」と書いてありますが、浄霊に使うなら身体部位ごとに2プッシュ、つまりたっぷり塗る必要があります。

入浴後、タオルで身体を拭いた後に塗ると良いでしょう。全身べたつくのが気になるなら、1週間はへそ下から尾てい骨だけ、2週間目からは背中と胸、3週間目は頭と、分けて使ってみるのも良いでしょう。霊的な影響に変化が生まれるまで、毎日続けてみてください。ご自身が「今日はここを塗りたいな…」と感じたら、その気持ちに従ってみるのも、もちろんOK。

## 3. 感情があふれてきたら

オーダー：⑧「どうか、この痛みの感情を癒してください」

お風呂で使ったり、身体に塗ったりして使ううちに、怒りや悲しみなどが大きくあふれてくることも。そうなれば上手くいつている証拠。さあ、ここからがポイントです。その強い感情のまま、月アロマ浄を入れたお風呂に入るのです。

これがすごく大事で、お風呂の中で、怒りを声に出してぶちまけたり、大きく泣いて、恨み言を口にしたりして、感情を発散させましょう。（家族に「声に出して発散するけど、心配しないでね」など、了承を得てからやってくださいね）心かき乱されたとしても、幾度か「強い感情のまま、お風呂に入る」を続けてみてください。そして、覚えていますか？ここで、自分の感情にしっかりと向き合っていきます。

大きな暴言、嘆きが、口から飛び出したあとに、そっと胸に手をあてて。「それほどの、恨みが（怒りが、悲しみが…etc）あなたの中にあっただね。ごめんね、今まで気づいてやれなくて。愛しているよ」と、伝えてあげましょう。声に出せるとベスト。ただ、「どうしても、そんなこと言う気になれない!」という場合は、まずは怒鳴ったり泣いたり、感情を発散させることに専念します。

また、「■「自分と向き合う」=「自分を責める」ではない。」でも触れたように、その痛みの感情の「初体験」を思い出せたなら。

「当時の自分」になりきって月アロマ浄のお風呂に入りましょう。これも非常に効果的です。

そうして、しっかりと泣いたり、いきどおったりできたなら。「今のあなた」に戻り、「当時の自分」にむかってやさしく声をかけてあげます。たとえばこんな風に。「今まで、あなたのことを忘れてしまっていて、ごめんね。どうかわたしをゆるしてね。愛しているよ…」。

<感情があふれてきた場合の対処>

その感情のまま、月アロマ浄のお風呂に入り、痛みの感情にしっかりと寄り添う。

## 4. 痛みのある身体部位に塗る

オーダー：⑨「身体の不具合を引き起こしている根本の原因を優しく教え、癒してください」

⑩「この痛みの原因が、霊障やサイキックアタックなら、それらのエネルギーを浄化し、わたしを守ってください」

頭痛や腹痛、生理痛など、激しい痛みのある部位に直接塗ります。慢性的なものなら1ヶ月くらい続けてみましょう。

## 5. 浄霊が進むと表れる兆候

オーダー：⑪「下痢や咳などを伴う変化を、可能な限り小さくし、やさしく、ゆるく、浄化してください」

浄霊が進むと、下痢や咳こみなどが、起こることがあります。どちらも体内のものが排出される動きですね。上手くいつている証ですが、あまりに大変なら入浴時や身体に塗る際に、変化をゆるめて進めるようオーダーしましょう。



## 6. 信念を手放す

オーダー：⑩「今起きている不具合の元となる信念があれば教えてください。また、それを手放すサポートをください。」

「■生霊もまた、同様のメカニズム」でも述べたように、無意識の決め事、信念があると、月アロマ浄を使っても、霊的な影響が再び始まってしまうことがあります。とくに新月満月の前後に効果がゆるみやすく、そんな時は信念を見つけるためのオーダーをし、しばらく使ってみましょう。

浄霊の流れは以上です。

「■自分を癒す。基本編」を何ヶ月かくり返せば、霊的な影響は少しずつ薄まるかと思います。しばらくこれを続けてみましょう。

冒頭でもお伝えした通り、霊はあなたのネガティブ（と言われる）感情だけでなく、信念（強い決め事）にも憑依します。このあたりを詳しくお伝えすると非常に長くなってしまいますので、わたしの講座などで取り上げていく予定です。（おそらくは、新占星術インフィニティーアストロジー講座など）

とは言え、上記のような使い方に変化はみられると思うので、まずは「月アロマ浄ゲルタイプ」を1~2袋、使ってみてください。そうして、「あ、自分に必要なことが起きてるな」と感じたら、ぜひ継続してくださいな。

最後は、悪役上等の霊たちをフォローして、クローズドしていきましょう。

霊たちがこの世界に存在をゆるされている理由。それは、わたし達人間の中にある、ネガティブ（と言われる）感情を、信念を、「ここにあるよ!」と教えてくれるから。もちろん霊たち当人は、そんな役割があることを、まったく知りませんけどね。

彼らはわたし達人間の厳しい教師。あなたが目を伏せている様々な痛みの感情に気づいて、ゆるし、受け入れてあげるプロセスに、一役かってくれているのです。どうか無用に怖がらないで、自分のなかの痛みに気づき、感謝とともに、彼らとのつながりを終わらせていきましょう。

あなたの人生が豊かで安心したものとなりますように。心から祈っています。

文責 木星（2024.03.01）

### ●おまけの Q&A●

**Q1.** 離れて暮らしている 30 代の娘がうつ病です。母も、母方の姉妹も、統合失調症など、心をわずらっていました。これも霊障でしょうか。娘はジェルを使いたがらないため、どうしたらよいかわかりません。

**A1.** 親子間のコミュニケーションがどんなものであったのか、その関係性から生じる問題は、おそらくかなり大きいと考えます。同時に、家系因縁と言われる霊障の影響も、少なからずあるのかもしれませんが。

娘さんが望まないならジェルを無理に勧める必要はありません。まずは、あなた自身が「●浄霊をスタートする●」にそって、使ってみてください。

家系に憑依した霊は、世代を超えて癒されていくケースも少なくありません。自分自身と向き合うことで、遠く離れた娘さんにも、何らかの良き変化が起こるかもしれません。

**Q2.** 「浄と巡のスプレー」は、重い空間を浄化するのに使うと、仕様書にありました。「月アロマ浄ジェルタイプ」で掃除をするのと、何が違うのですか？

**A2.** 簡単に言うと、「浄と巡のスプレー」は簡易的で対処療法的。「月アロマ浄ジェル」は本格的で、根本療法に近いイメージです。（あくまでたとえて、医療行為ではありません）住まいは本格的に整えた方が、ご自身にとっても心地がよいですね。スプレーはジェルに比べて使用感も手軽ですし、シチュエーションによって使い分けることをお勧めしています。

